

栗山町におけるこれまでの取り組み

○本町では、ハサンベツ里山 20 年計画事業、夕張川魚道整備や稚魚放流事業、ゼロカーボンシティ宣言、ごみ分別（リサイクルの推進）をはじめとする、環境保全の活動が進められています。

【自然環境保全に資する取り組み（自然環境教育、環境・エネルギーなど）】

- ・ 1985（昭和 60）年～
国蝶オオムラサキの発見、町民と行政による町ぐるみの運動の始まり
- ・ 2001（平成 13）年
官民協働による「ハサンベツ里山 20 年計画」策定、計画を具現化するため「ハサンベツ里山計画実行委員会」を設立
- ・ 2004（平成 16）年～
ごみ処理有料化を導入（ごみの適正分別・リサイクルの推進）
- ・ 2007（平成 19）年～
栗山青年会議所などを中心にサケの稚魚放流会を実施
- ・ 2008（平成 20）年～
コカ・コーラ教育・環境財団の支援を受け、延べ 1,500 人の町民ボランティアの参加のもと、雨煙別小学校の再生に取り組む
- ・ 2010（平成 22）年
「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」正式オープン
- ・ 2015（平成 27）年
栗沢頭首工に魚道（サーモンロード）が整備される
- ・ 2018（平成 30）年
雨煙別川が「かわまちづくり計画」として登録
- ・ 2021（令和 3）年
「COOL CHOICE（＝賢い選択）」に栗山町が賛同
- ・ 2023（令和 5）年
「ゼロカーボンシティ宣言」を表明、栗山町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定、木材企業 4 社と「栗山町企業の森林（もり）づくりに関する協定」を締結